

[気象・海況]

- 水温 直近3か年より高めで推移しています(図1)。特に気温が上昇した2/2, 15-19の期間は大きく上昇しました。
- 栄養塩 窒素は全域で十分あり、リンは少ない地点もありました。(表1)。
- 沖合水 3/1~6にかけて断続的に漁場内への強い波及がありました。

表1 栄養塩の分析結果(3/5)

($\mu\text{g/L}$)	船橋	木更津	富津ベタ	2海堡	大貫沖
窒素	478	392	367	173	137
リン	6	7	10	7	7

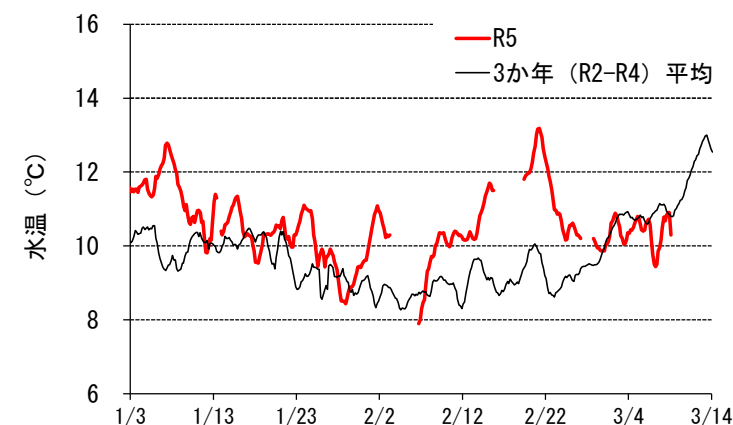


図1 表層水温(木更津観測ブイ)

[今後の留意点]

○粘り強い生産を！

現時点、リンがやや少ない状況となっていますが、極端な色落ちが発生する状況ではありません。

例年、季節的に栄養塩が減少傾向に向かう時期となりますが、今漁期は低濃度でも増殖を繰り返す大型珪藻ユーカンピアの発生もないため、長期間にわたり低濃度で推移する可能性は低いと考えられます。

そのため、一時的に色落ちが発生しても回復が十分に想定されるので、最後まで粘り強く生産を継続してください。

○あかぐされ病対策

- ・定期的な降雨により、あかぐされ病が蔓延しやすい状況となっています。
- ・対策として、早期摘採、定期的な活性処理、段線を高くする、状態の悪い網の速やかな撤去など、適切に対応してください。